

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

不知子!

老眼郷 Presents

ついに
この日が
来たのだな……

我が愛しの
マスターよ

そなたが余の
契約者となり
共に戦場を
駆け抜けた日々――

この身の昂ぶりは
実に得難い
ものであった

これはそなたへの
褒美……いや

余 自身の
生前よりの
願いでもある

今宵の余は
サーヴァントでなく
そなたの花嫁だ

心ゆくまで
愛するがよい――





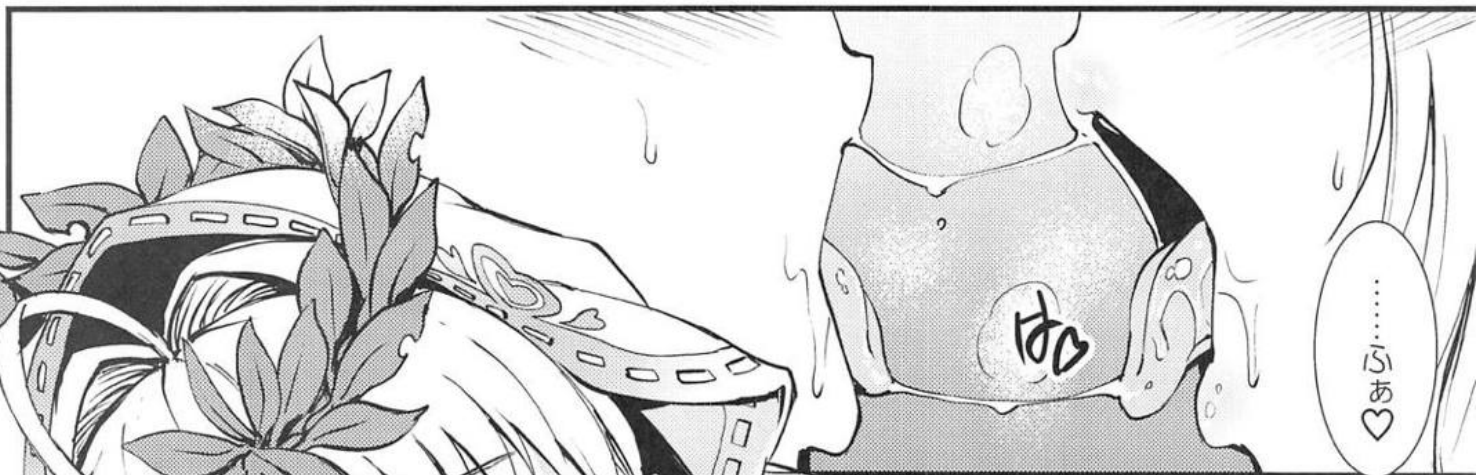
んっ…っ♡

あひ…♡
…っ♡
♡♡♡
はっ♡

はっ♡

ん…♡

ちゅ…♡



…っあ♡



ななんであらうな

…っう
うむ…

んっ…♡

生前
およそ考えつくかぎりの悦は
極めたつもり之余であるが…

この接吻は…
今まで…

味わったこと
ない…



テルマエで
何度も見ている
だろうに

まあ
よいが……

たかこ

……む？
余の乳房が
見たいのか？



——や やはり
いつもとは
違うな……

恥じるものなど
ないはずだが——

そなたの
その燃えるような
熱い眼差しが

余を……
蕩けさせる
のだ……♡

いびき

いびき
いびき

いびき

触れて
よいかと？

……うむ
今宵この身は
そなたの物だ

ん……♡

ど どうだ？
触り心地は

この
指が沈み込む
大きさと
柔らかさ……

許可など取らずとも
好きにするが
よい……♡

むにゅ

ずんぽん

むにゅ

それでいて
若さの象徴たる
瑞々しい弾力……

我ながら
おっぴかいと
見事な

自負
している……
のだが……っ

はあ

むたむた、♡



んっ♡

ちくびっ...
ばかり攻めるで
ないっ...
んはう♡

よもや...っ
そなたが
こんなっ
おっばい
好き...♡
だとは...♡

ち乳首...は
だめ...♡

だ...っ!?



んっ♡
んっ♡

こっ...!

あ♡

ぎゅ♡

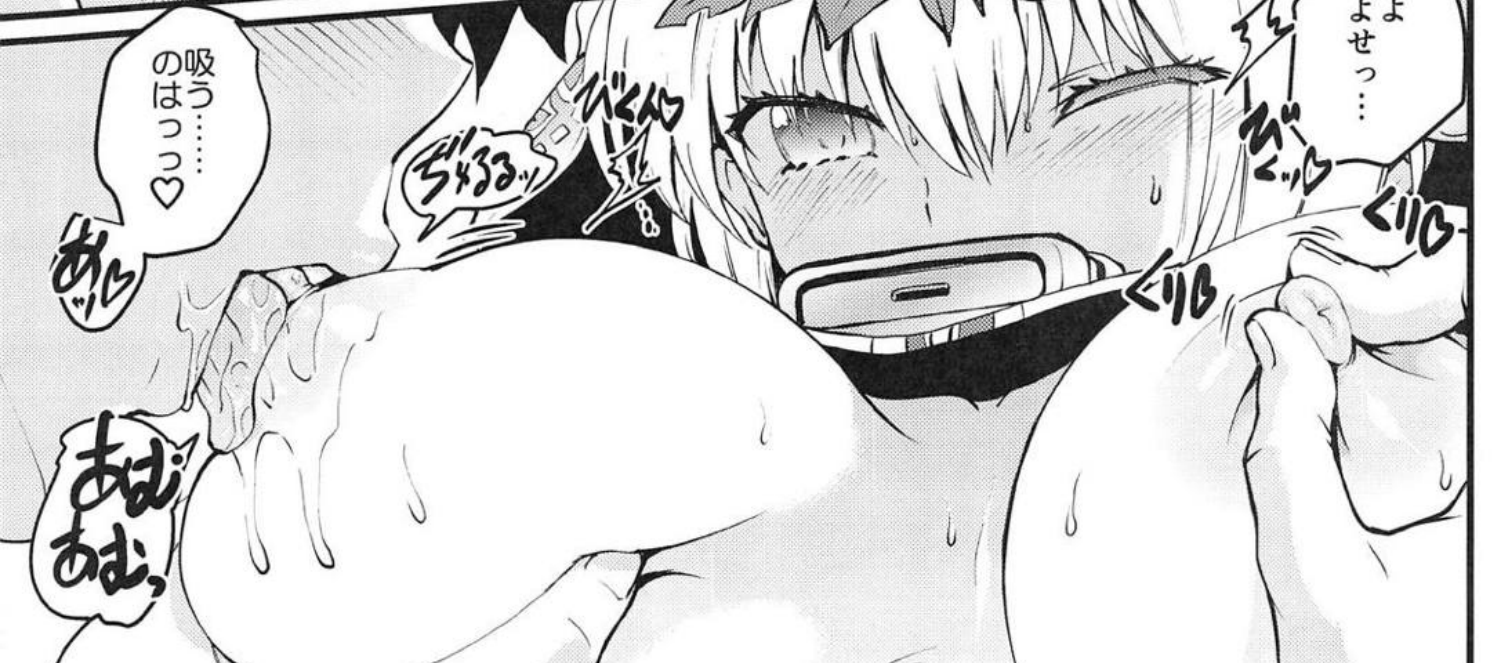


ちゅ♡

ぎゅ♡

ぎゅ♡

あ!!



の吸っ♡

ちゅ♡

よせっ...

あ♡
あ♡

ぎゅ♡

ぎゅ♡



余はっ
そなたの

れろおっ

で母はっ
ちゅっ!

あ花嫁はっ
てっで

ちゅっ!!

ない...そっっ!!?



ちゅっ!!

ちゅっ!!

にまああ
あああ

ちゅっ!!

ちゅっ!!

ちゅっ!!



はっ

ばっ馬鹿者!
余がこの程度で

絶頂してっ
...などっ

やはり
好かれっばなしは

今度は
余の番だぞっ!!

はっ



どれ♪
我がマスターの陰茎は？
いかほどの物であるか？

！
今度は余が
可愛がって

て……テルマエで
見た時は……

もっとこう……
可愛らしかった
ような……



しかしかくも
鉄のごとく
固くなるとは……

よほど
余の身体に
興奮したと
見えるな

んむ……
は……あ♡

……まあ
仕方のないこと
ではあるが……♡



もちろん
知って
いるぞ！

勃起だ！

うむっ
そなたの陰茎は
実に雄々しく
勃起しているな！



と 当然——

男を悦ばす
術だって
知っているぞ……っ





余の
ふえの
れらひ
お

もぎん

さる
さつひ
の
仕返
ひ
……

存分に
いがる
が
……

もぎん

んん



んん

んん

んん

んん



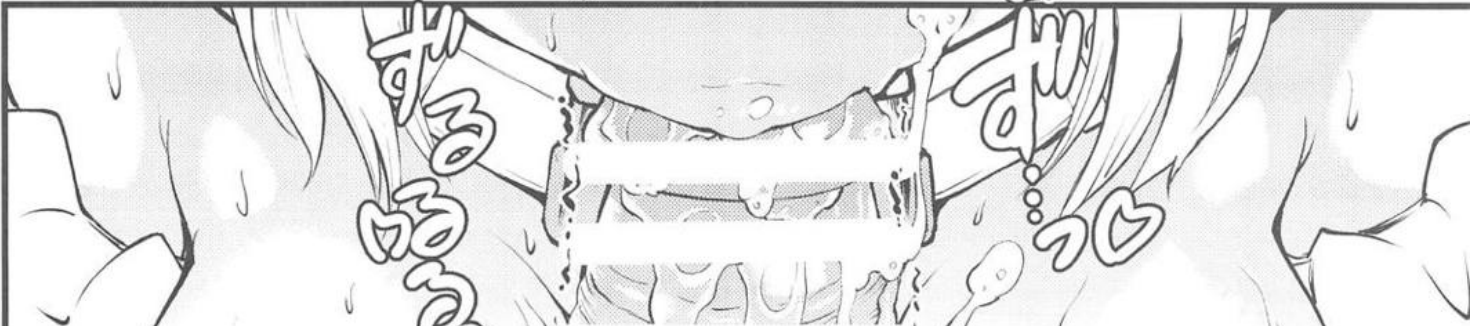
んん

んん

んん

んん

んん





こひは...♡

ちゅぽん♡

ちゅぽん♡

...は...♡
んんっ...

ななんと
濃厚で...

珍妙な味で
あるか...♡



そなたの精...
そなたの味...

ちゅぽん♡

余だけが知る
この世で
ただ一つの
珍味

うむ—
悪くはないぞ♡

一度では
満足できぬか

.....
わ

さすがは
余のマスターだ

わかって
おるぞ?

次は
その...

余の...

で.....

こっ ころう!
確かにそなたの
好きにするが
よいとは言った
が……っ!

いきなりっ
こんな
格好は……っ

ぶ 無礼で
あろうっ!!

ははは

そ そんなに目を
血走らせて……
余のそこ……ッ

あそこ……をっ
凝視するで
ないっ!

未だ……
誰にも
見せた
事のないっ

余の……
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

……きっ……  
綺麗だと?

そ それは  
当然で  
ある……がっ

はあ

あああ

あああ

あああ

あああ

あああ



ヤッ♡  
もばのツばか…!  
はぁ♡  
そんな…  
とこツツ!?

はぁ♡

いまっ…  
声は…ツ

ちあっ…  
ちが…っ

ひっ♡

はぁ♡



やめっ♡  
…っ♡

はひっ♡  
あ♡  
そ♡  
また吸って…♡

はぁ♡

ん♡  
ああ♡  
ツ♡  
♡



余の…  
知らぬ…  
悦楽が…

まだ…  
…んあっ?

ここの…  
ような…

はぁ♡

ぬ

はぁ♡

はぁ♡



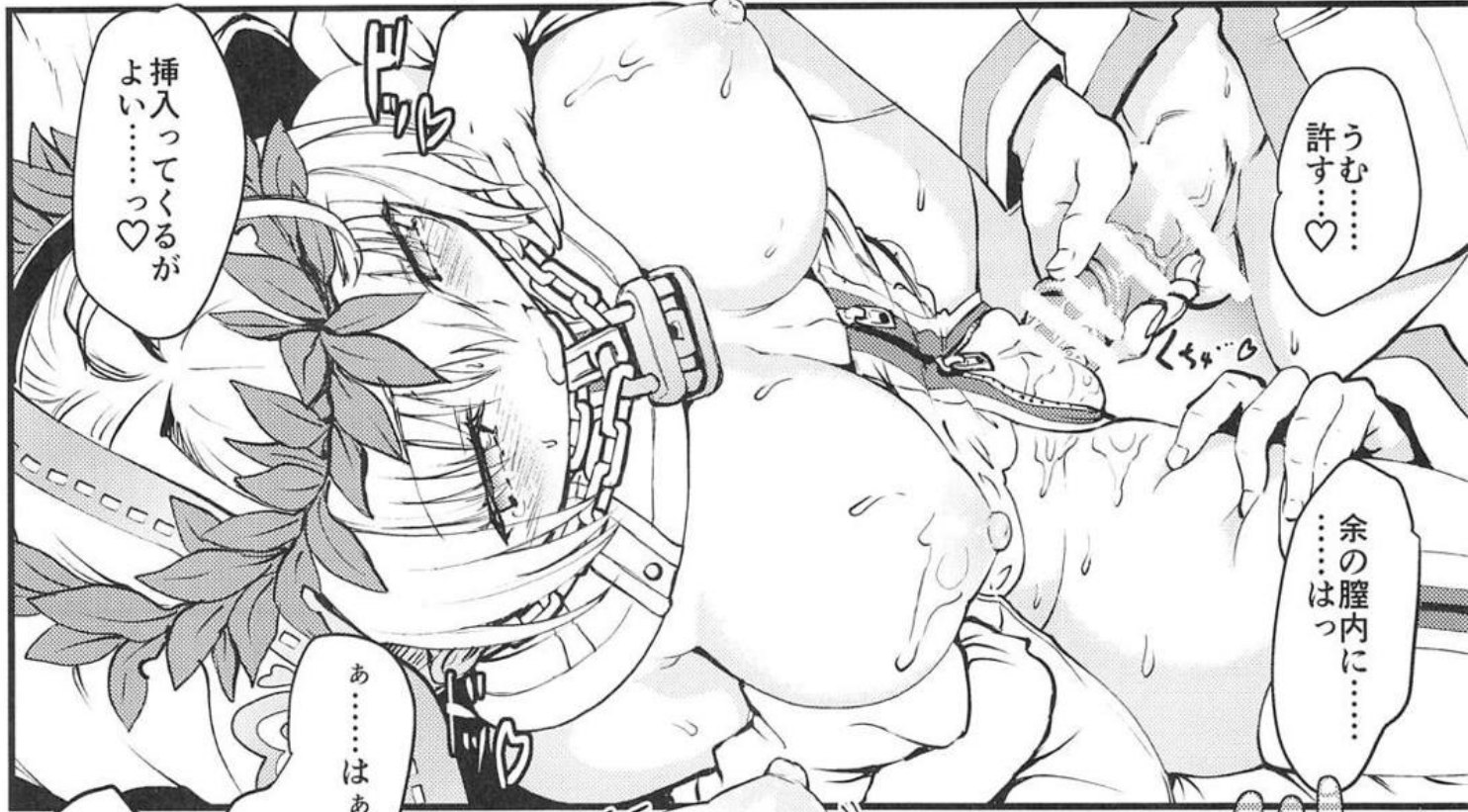
あ……

ついに余は……  
そなたの物に  
なるのだな……

ああ……あ♡

そなたの  
モノで……

まことの花嫁に  
なれるのだな……♡

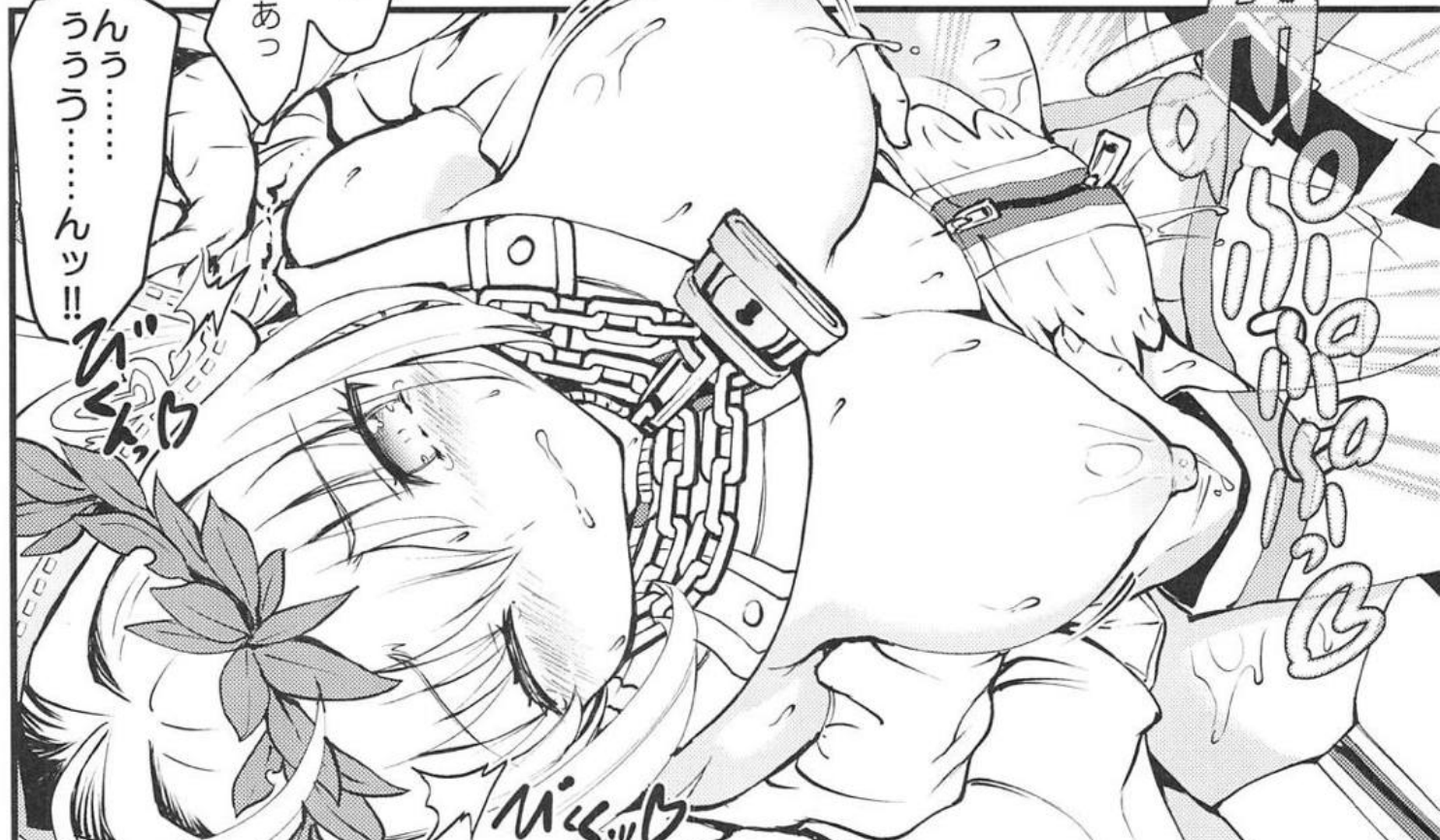


うむ……  
許す……♡

余の膣内に……

あ……はあ

挿入……くるが  
よい……♡



うんっ……  
んっ……んっ!!

あっ

くちゅ



そなたと  
繋がったっ  
だけで……っ♡

は……♡  
……なっ♡  
なん……♡と  
いう……♡

こん……  
な……♡♡♡

はっはっはっ♡

はっはっはっ♡

はっはっはっ♡

はっはっはっ♡

はっはっはっ♡

はっはっはっ♡





ま 魔力の  
関係…で  
ある…っか  
…っ♡



おく…なっ  
こ…なっ  
奥まで…っ♡

そなたの  
熱い…っ♡  
余の…一番っ  
敏感な  
トコ…っ♡



ちからっ…♡

まっ  
待てっ…

入っ…  
りやな…っ♡

まっ…  
の…だっ♡

かなに...もっ  
らんがえ...っ  
♡

よけもの  
うなっ  
まがっ  
わい...がっ  
♡

こっ...  
んなっ...  
♡

よきもひっ  
すきもひっ  
んすきもひっ  
なすきもひっ  
♡♡♡

BUCKS

♡♡♡  
♡♡♡  
♡♡♡







ふふっ...  
なんだ...♡

こうしてみると...  
...そなたも  
余の身体でっ...♡

快楽を貪るのに  
いっぱいっ...♡

では  
ないかっ♡



うむうむ...  
...♡

そんなに  
気持ちよいかっ?  
余の  
身体は...♡

名器っ♡  
なのだ...♡

と当然  
だなっ♡

余は...  
至高にして  
至上のっ♡



ゆよんっ♡  
るいそっ♡  
すっ♡

やっめっ♡  
っ♡

余の膣おく…  
ふかくっ♡  
子宮…♡  
まで…♡

そなたの精…  
せいしたっ♡  
子種を…♡

おっぱいおっぱい♡  
おっぱいおっぱい♡

イっ…  
くっ…  
っ…

共…  
ゆ…  
く…  
っ…  
っ…  
っ…

だし…  
射精し…  
っ♡  
っ♡



あッ!!

んあ...あ♡

ほ♡

ほ♡

あぁ...あぁあぁあぁ  
あぁあぁ...♡♡♡♡

んあ♡♡♡

んあ♡♡

んあ♡♡♡

んあ♡

んあ♡



あ……♡♡♡

はあ……

は……♡

まさにも……  
天にも昇る  
夢のような  
ひとときで  
あった……♡

ま……  
まったたく  
そなたは……♡  
全力で愛して  
くれるのは  
嬉しいが

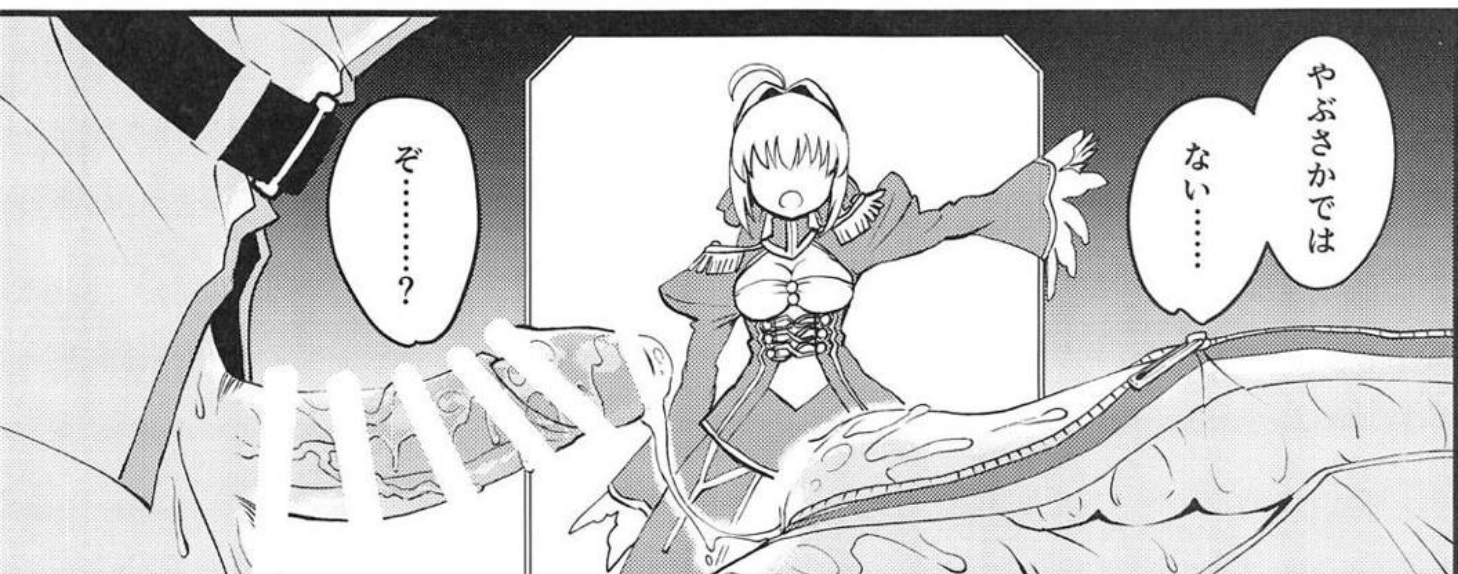
余の子宮が……  
そなたの子種で  
溢れてしまった  
ではないか……♡

夢……と  
言えば  
余は花嫁の  
できたぞっ

……うむ

それは——

とろろ♡







なななっ

十二を  
しているか  
余ーっかニニ?

……うむ  
やはり来たか余

こうなることは  
なんとなく  
予感もして  
いたのだが……



な……  
なんとなく  
余も……

戦闘で  
共に出撃する  
ことはあっても  
存在に触れるのは  
タブーだった  
ので

カルデア内では  
極力余自身には  
出会うなように  
していたのだが……



しかし  
他の者であれば  
まだしも  
余ではない  
余が……

なんか凄  
い  
フクザツ……

余は遅れを  
取ったのか  
……?

召喚されたのも  
☆5の方が  
先であつたし……

初の  
☆5サーヴァントで  
マスターも  
たいそう喜んで  
いたと聞く……

ふーむ……  
待つのだ余  
そなたの気持ちは  
痛い程に分かる

ガーン

注：うちのカルデアの場合

しかしそなたも  
皇帝であるならば  
相手が余 自身で  
あるとて  
退くべきでは  
無かるう

かっは  
んむうむっ!

ならばっ!

うむうむっ

それは……  
そうであるが……

筋力B

な……っ  
何を……するっ!

なに  
マスターだぞ

その程度の甲斐性は  
持ち合わせていよう♡

筋力D

今宵はまだ  
初夜……  
早いも  
遅いもない

共に  
マスターの花嫁と  
なろうではないか

そいでなくて  
だなっ

余にも  
心の準備が……

んむうっ!?

♡

♡

んむうっ!



むっ~~~~むっ~~~~むっ~~~~!!?

んっ~~~~!!?



ふあ

あぶっ……



くちゅ……



天にも昇る  
極上の悦楽で  
あろう♡

マスターと  
まぐわう  
感想は  
どうだ?

あぶっ……  
っ!!

余の膣内……に  
マスターがっ

挿は  
入っ  
て……  
♡

ひい……っ!  
めえっ♡



……うむ……う

改めて  
他人の目から  
見てみると……

こんなにも  
よがって  
いたのか?  
余——



……  
こんなっ  
♡  
こんなっ  
♡  
あ

こん……なのっ  
知らぬっ♡

それにしても……  
なんとも不思議な  
ものであるな

余が  
まぐわう姿を  
見るといのは……

余の陰門に  
……  
マスターの  
陰茎が……

出たり……  
入ったり……

淫らな  
光景で  
あろうか……

は  
昂ぶってしまっ  
てはないか……

あつ……  
はあ……

余も……  
またっ

あッ♡♡♡  
…わかる♡  
…♡

そなたの  
陰茎…♡  
…♡

余の膣内で  
びくびく  
暴れて…♡  
…♡

射精…♡  
…♡  
あしたいつで  
あろう♡  
…♡

余を孕ませたい  
ので…♡  
…♡

うっ♡  
…♡  
…♡

余も…♡  
…♡  
…♡  
果て…♡  
…♡

あ—♡♡♡  
…♡

あッ♡  
…♡  
…♡

あッ♡  
…♡  
…♡

あッ♡  
…♡  
…♡

余の膣奥で…  
…♡  
…♡

そなたの  
元気な  
子種♡  
…♡

子宮まで  
届けるよう  
…♡  
…♡











roh  
gun.  
2018.12

— ネロねろ！ —

発行日：2018年12月31日  
 発行者：老眼(老眼郷)  
 連絡先：@ROHGUN\_KYOH(twitter)  
 rohgun.blog.fc2.com(blog & mail)  
 印刷所：コミック応援.com



ネロねろ!  
 (2)  
 2019夏  
 予定…?

18歳未満閲覧・購読禁止  
 禁無断転載・禁複製

No part of this publication may be lent, resold, reproduced, scanned, stored in a retrieval system or transmitted in any form or by any means without the prior written permission of the author, nor be otherwise circulated in any form of editing, binding or cover other than that in which it is published and without a similar condition being imposed on the subsequent purchaser.

Nero # Nero!

